

ひきこもり支援 × 福祉教育

“子ども向けのひきこもりの理解促進プログラム”を考える ～あなたが大切にしている支援の「肝」は？～

【開催要項】

1 目 的

新たな地域課題の一つであるひきこもり支援に取り組む社協が増えている中、啓発により地域住民等からひきこもりの理解を得ることは重要な要素であり、喫緊の課題でもある。

本研修会は、物事を柔軟に理解できる成長過程にあり、より丁寧に伝えることが求められる「子ども」を対象者と仮定したプログラムづくりを通じて、ひきこもり支援担当者と福祉教育担当者間での情報交換や悩みの共有、日頃の取組みの振り返り等を行いながら、ひきこもり支援の本質を考え、両担当者の今後の事業展開に向けた発想の広がりにも資することを目的に開催する。

2 主 催

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会

3 期日・会場

期 日：令和7年3月6日（木）13：00～16：00

会 場：新潟ユニゾンプラザ5階 中研修室（新潟市中央区上所2-2-2）

4 対 象 者

市区町村社会福祉協議会の職員で下記のいずれかに該当する者

- ① ひきこもり支援関係事業を実施している担当者
- ② 福祉教育事業担当者
- ③ ひきこもり支援関係事業・福祉教育事業に興味のある者

5 定 員

30名

※申込みをもって参加決定とします。定員を超えた場合は、別途事務局からご連絡いたします。

6 参 加 費

無料

7 申込方法

以下の URL よりお申し込みください。同一社協内から複数名申込みする場合は、お手数ですが一人ずつ入力をお願いいたします。なお、本要項の案内はメールでもお送りします。

<https://forms.gle/qSuDafVg6whrZ95h6>

8 申込締切

令和7年2月27日（木）

9 内容

本研修では「報告」を通してひきこもりとその支援及び福祉教育の基礎知識を得た上で、子どもに対してどのように福祉教育を伝えていくか、そのプログラムを考えていきます。

プログラム作成の過程で、両担当者での情報共有や悩みの共有を行い、「ひきこもりとは？」「子どもたちに何をどう伝えればよいのか？」を深掘りし、その本質を探ります。

これまでになかった他事業間での合同研修です。お互いの事業についてまずは知り、研修後の各事業の発想の広がりにつながれば幸いです。

※担当者でなくても興味のある方は大歓迎です。

時間	プログラム
13:00～13:05	◆開会
13:05～13:10	◆導入 長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子 氏
13:10～13:40	◆報告 「ひきこもりとその支援について」 新潟県社会福祉協議会 地域福祉課 主任 遠間 実央 「福祉教育について」 新潟県社会福祉協議会 地域福祉課 主任 安達 勝彦
13:40～13:50	◆グループ内自己紹介
13:50～14:05	◆個人ワーク 「ひきこもりとその支援について子どもに伝えよう」
14:05～15:35	◆グループワーク 「子どもへひきこもりとその支援について伝えるプログラム作り」 ※各自で休憩
15:35～15:50	◆発表
15:50～16:00	◆まとめ 長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子 氏

10 お申し込み／お問い合わせ先

新潟県社会福祉協議会 地域福祉課 [ひきこもり支援担当：遠間 福祉教育担当：安達]

〒950-8575 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 3 階

TEL 025-281-5521 / FAX 025-285-0303 / Eメール chiiki@fukushiniigata.or.jp